

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年1月29日作成)

小委員会名	鋼構造塑性設計小委員会	主査名：聲高 裕治 就任年月：2019年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主査名：井戸田 秀樹
設置期間	2019年4月 ～ 2023年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>『鋼構造塑性設計指針』の改定に向け、塑性設計および指針のあり方について再考するとともに、指針の内容を精査しながら、改定版(4版)の発刊を目指す。</p> <p>初年度(2019年度)：『鋼構造塑性設計指針』4版の章立てを確定するとともに、各章の改定項目を検討する。</p> <p>2年度(2020年度)：初年度に引き続き、鋼構造関連規準・指針の体系化の中における『鋼構造塑性設計指針』の位置付けを明確にし、その方針に沿った改定項目を整理する。</p> <p>3年度(2021年度)：『鋼構造塑性設計指針』4版の執筆を進める。改定内容を適宜確認しながら、章ごとの関連性・全体構成などを見直す。</p> <p>4年度(2022年度)：作成した『鋼構造塑性設計指針』4版の素案を鋼構造運営委員会で検討して頂くとともに、鋼構造運営委員会、構造本委員会の査読および会員への意見募集をお願いして最終原稿の取り纏めを行う。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：聲高裕治(京都大学) 幹事：佐藤篤司(名古屋工業大学) 委員：五十嵐規矩夫(東京工業大学)、石原清孝(竹中工務店)、井戸田秀樹(名古屋工業大学)、岩間和博(竹中工務店)、岡崎太郎(北海道大学)、金尾伊織(京都工芸繊維大学)、中野達也(宇都宮大学)、向出静司(大阪工業大学)、山西央朗(広島工業大学)</p>	
設置WG (WG名：目的)		
2020年度予算	390,000円	ホームページ公開の有無：有 委員会HPアドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s40/

項 目	自己評価
委員会開催数	3回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 開催回数は減少したが、1回あたりの時間を少し引き延ばしたことにより、概ね当初の活動計画どおりの目標を達成した。
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 構成委員が多忙なため、委員会の開催日が休日に設定されることが多く、委員の負担が大きい。</p> <p>2. 遠隔地に所属する構成委員が多いため例年は委員会開催のための旅費が不足気味であるが、今年度はオンライン会議を利用したため予算の問題は生じなかった。さらにオンライン会議により委員会の欠席者数が減り、委員の移動の負担が軽減されたと思われる。その一方で、オンライン会議では単なる報告になりがちで、様々な角度からの深い議論を行うことが難しいことが新たな課題と言える。</p>